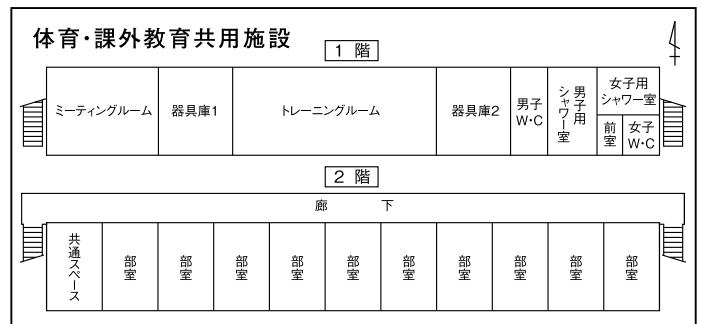


## 体育・課外教育共用施設の改築

学生主事 小柴 孝

今年の3月、グラウンド北側にあった平屋建ての「体育更衣室（実際は体育系クラブ部室として使用）」と「体育器具庫」は、新しく二階建ての「体育・課外教育共用施設」として生まれ変わりました。新しい施設の一階には、トイレ、シャワールーム、トレーニングルーム、体育器具庫が配置され、また二階には、クラブ用部室10、共通スペース1の合計11の部屋が並んでいます。これまでの部室では、梅雨や台風の時期は、特にそうですが、局所的な豪雨になると部室前の側溝から雨水が溢れ、部室が浸水することがありました。また、風の強い日などは、部室内にグラウンドの砂が入り込んだりすることもありましたが、新しい施設では、部室群が二階となったこと、さらには、入り口が北側に変更となったことで、これまでの劣悪な環境が大幅に改善されました。現在、10の体育系クラブが、それぞれ新しい部室を拠点に、毎日、厳しい練習に励んでいます。ここ数年、奈良高専の高専

体育大会での成績は低迷が続けていますが、新しい環境の下、これまで以上に全国大会出場、全国大会優勝を果たすクラブが増えることを期待したいと思います。



## 高専生の自転車マナーが悪い

### という苦情が、最近多数寄せられています

- ◎自転車マナーに対して「学校に何度か連絡したが、改善されない」、「自転車で広がって並進している」、「幼稚園や小学校の登校経路でもあるので、小さい子供との事故も心配である」などの苦情が寄せられている。(郡山警察署から)
- ◎園児の登園のために横断歩道で旗を出しても、止まらずに旗の間をくぐり抜けていく学生や、3~4列に広がり並列走行している学生がいる。(幼稚園から)
- ◎郡山駅から奈良高専方面へ自転車で走行中、下校する自転車の学生の一団と何度もすれ違い、そのうちの一组とぶつかりそうになった。学生は若いのでぶつかりかけても、すぐに避けられるという心構えで走行しているのであろうが、年寄りはずぐには避けられず、恐怖を感じながら自転車を運転している。(近隣住民の方から)

本校には、このような苦情の電話が月に数件あります。その一部は学生の皆さんにも掲示や担任の先生を通して知らせています。しかし、皆さんの脳にこの情報は伝わっているのでしょうか？ 苦情を言ってきた人たちが、どのような思いで電話をしてきたのかを考えると、本当に深刻な問題です。奈良高専の学生が運転する自転車で、危険な目に遭ったというメッセージなのですから。

皆さんは他人の立場に立って、自転車を運転していますか？ お年寄りや子供にとって、猛スピードで近づいてくる皆さんの自転車は非常に恐怖です。前を見ないで、友人と話をしながら並進して行く自転車も同じです。皆さんは、直前になってから、歩いている

人をギリギリ避ければいいと思っているかも知れませんが、それは相手には分かりません。ギリギリ避けても、相手には恐怖感を与えてしまいます。相手のことを考えられない人が技術者になることは、社会にとって非常に不幸なことです。

ハイリッヒの法則では、1つの重大事故の背後には、29件の軽微な事故と300件の「ヒヤリハット」があるとされています。既に、「ヒヤリハット」や軽微な事故は何回も起きており、重大事故はいつ起こってもおかしくありません。その時にあなたは責任を取れますか？ 保護者の方にもご一考いただければと思います。

(学生委員会)